

地域リハビリテーション支援センターだより

(神奈川県リハビリテーション支援センター)

平成28年4月発行 NO-54

地域リハ支援センター



名称変更しました！

地域リハビリテーション支援センター

この四月から当事業団の県指定管理者更新に伴い地域支援センターから地域リハビリテーション支援センターに名称変更となりました。業務内容は従来どおりですが、対外的には神奈川県リハビリテーション支援センターとして当事業団のリハビリテーションノウハウを県内に広く活用していただくべく業務を遂行してゆきます。最近、包括ケアシステムという言葉が目立つようになりましたが、その元となるのが地域リハビリテーションの概念です。平成13年日本リハビリ病院施設協会での定義は「障害のある人々や高齢者およびその家族が住みなれたところで、そこに住む人々ともに、一生安全に、生き生きとした生活が送れるよう、医療、保健、福祉及び生活にかかわるあらゆる人々や機関、組織がリハビリテーションの立場から協力し合って行う活動のすべてを言う」となっております。来る少子高齢化社会を乗り切るには避けて通れない課題です。障がいのある子供から大人までそしてお年寄りも含め街を構成する人々がそれぞれのライフステージに合わせて地域社会に参加できるような街づくりが望まれます。そこには自助、共助、互助と公助の精神が大切に 応援する気持ちがこもった支援が必要不可欠です。



当リハ支援センターもこの精神を忘れず、日々の業務に取り組んでまいりたいと思います。

地域リハビリテーション支援センター所長 村井 政夫

二つの支援室のメンバー紹介

～これからお会いする機会が多くなるので、よろしくお願いいたします。～



地域支援室メンバー



高次脳機能障害支援室メンバー

地域支援室

リハビリテーション専門相談 ～住み慣れた地域で自立した生活を支える～

ケアマネジャーのみなさん、相談支援員のみなさん、リハスタッフのみなさん、補装具や福祉用具、住宅改修、リハ訓練プログラム、就労支援等お困りのことはありませんか？

神奈川県リハビリテーション支援センターでは、「地域の支援者を支援する」二次支援機関として、リハビリテーションに関する相談に対して総合相談・情報提供・技術支援等を行っています。高齢者・障害者が住み慣れた地域で自立した生活が送れるように、リハ的な視点を基にした支援計画のお手伝いを致します。必要に応じて、理学療法士、作業療法士、リハエンジニア、ソーシャルワーカー等の専門職が同行訪問し、現場でのアセスメントと課題解決を目指します。相談は無料です。相談受付から対応の流れは、図のようになっております。詳しくは神奈川県リハ支援センターのリハ専門相談のページをご覧ください。下記の相談のように、多くの方が課題を抱え、生活をされているように思います。支援されている方の中で、リハ専門職が関わることで活動や参加をすすめられそうな場合には、まずはお電話を！皆様からのご相談をお待ちしています。

046-249-2602
月曜日～金曜日
9:00～17:00

支援機関 → 相談受付 → 県リハ支援センター
県リハ支援センター → 情報提供 → 支援機関
県リハ支援センター → 同行訪問 → 対象者

(蒔田桂子)

- ケアマネジャーさんからのご相談により対応した事例 -

*慢性関節リウマチ（女性）：自助具の紹介と動作方法の検討

数々の生活上のお困りごとに対し、リーチャーを紹介し一部の問題は解決することができました。しかし残された課題に対して継続した支援が必要と思われたため、訪問リハの利用をお勧めしました。

*脳梗塞・左片麻痺（男性）：身体機能改善のための訓練プログラムの助言

デイサービスに通っているほかには自宅内で過ごすことが多く、生活の拡大が図れていない方でした。自宅でできる運動のほか、訪問看護師と共に屋外を歩行練習することで、本人の自信につなげて頂けたらと思いアドバイスを行いました。

(一木愛子)

H27年度リハ専門相談実績

4～3月	相談件数	訪問件数	来所件数
神経・筋疾患	102	24	16
脊髄損傷	48	3	20
脊髄疾患	25	2	3
骨関節疾患	19	3	4
脳性麻痺	59	15	9
脳血管障害	32	3	2
後天性脳損傷(CVA以外)	27	7	3
その他(内部疾患・切断)	43	8	1
不特定	0	0	0
不明	2	0	0
合計	357	65	58

訪問・来所の目的	訪問件数	来所件数
補装具福祉機器	27	10
住環境整備	9	8
身体機能評価	3	0
ADL指導	6	0
訓練プログラム指導	5	0
介護指導	11	5
支援検討 他	1	8
補装具判定等	3	27
合計	65	58

高次脳機能障害支援室

高次脳機能障害とは、脳外傷などの後に人柄が変わり認知能力も低下する病態のことです。この高次脳機能障害は長期間に渡って多様な様相を呈し、従ってそのリハ・支援も長期間に渡った専門性の高い対応が求められます。我が国においては平成15年に診断基準が策定され対応が本格化した、比較的新しい分野です。



神奈川県総合リハセンターでは、20年程前(国が始動する前!)から高次脳機能障害のリハ・支援に積極的に取り組んできました。当事者本人の判断力にも障害を受けるこの病態では、その取り組みの中で、家族も含めた包括的なアプローチが求められることが明確となり、病院の枠組だけでは対応ができないことがわかってきました。こうしたことを背景に、平成22年地域リハ支援センター内に高次脳機能障害支援室が設置され、活動を続けてきています。

高次脳機能障害支援室は、当事者、御家族に加えて、地域の様々な支援機関を対象として活動しています。見えにくい高次脳機能障害を少しでも見えるようにし(啓蒙)、多様性の高いこの障害の対応を皆で考え(包括的アプローチ)、それを長い期間続けていけるようなシステムをつくる(スタッフの育成とスキルアップ)ことを主軸として、実際の活動を行っています。地域諸機関と活きたネットワークを作るべく、それこそ当院相談支援コーディネーターが日々飛び回っている状況です。

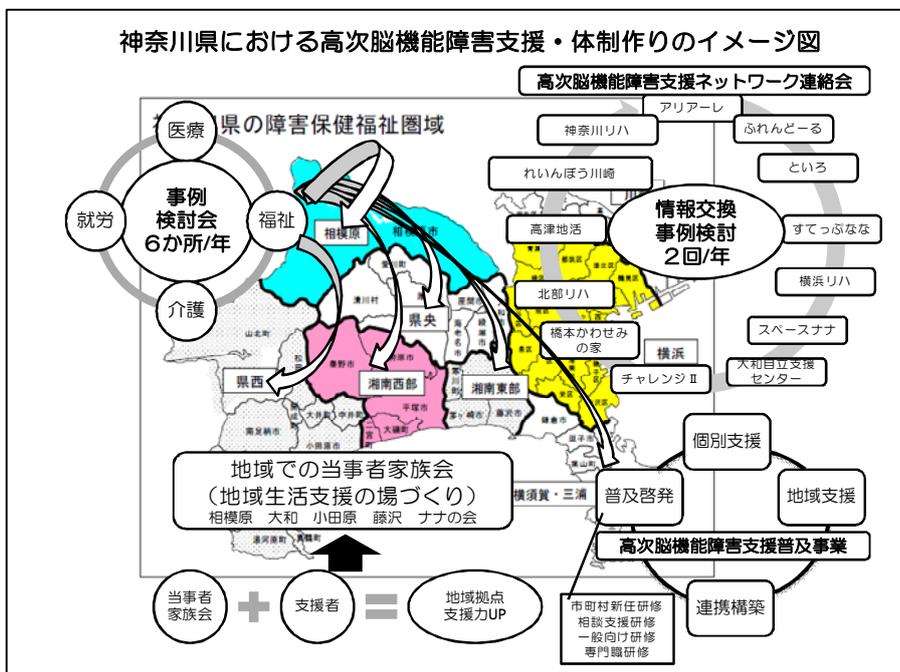
一筋縄ではいかない高次脳機能障害ですが、当事者・御家族に少しでも安心を感じていただけるよう、職員一同で取り組んでいます。
(青木 重陽)

高次脳機能障害及びその関連障害に対する支援普及事業

高次脳機能障害及びその関連障害に対する支援普及事業は、障害者総合支援法の地域生活支援事業の都道府県が実施する専門性の高い相談支援事業に位置付けられています。神奈川県では、神奈川県総合リハビリテーションセンターが拠点機関となり、相談支援コーディネーター3名、臨床心理士1名が配置されています。

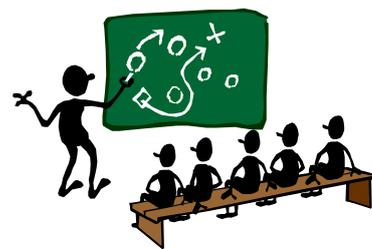
事業内容ですが、個別支援、地域支援、連携構築、普及啓発を4本柱としつつ、医療・福祉・介護・就労支援の連携を目的とした「事例検討会」、高次脳機能障害者支援を専門とした機関で情報交換を行う「高次脳機能障害支援機関ネットワーク連絡会」、家族会(ナナの会)と連携して地域に根ざしたピアサポート体制の場づくりを目指す「地域当事者・家族会(相模原・大和・小田原・藤沢で開催)」を行っています。

このように、当センターだけではなく、家族会、地域支援機関、医療機関等と連携しつつ、本事業は運営されています。今後も、当事者とご家族が住みなれた地域での生活が継続できるように、取り組んでいきたいと考えています。
(瀧澤 学)



リハビリテーション専門研修

地域リハ支援センターの研修の特色は、医療・介護・福祉などの多職種が共に勉強できることです。研修を通じて相互の理解が深まるように工夫しています。リハビリテーションの専門性を高めるための研修、医療のノウハウを介護・福祉と共有する研修など様々な切り口で研修を企画しております。



開催日の約2か月前から募集を開始しております。皆様ふるってご参加ください。(平田 学)

平成28年度 研修計画

申し込み・お問い合わせはこちら

地域リハ支援センター

No.	研修名		開催月日	定員	日数	受講料	対象職種	会場
1	PTハンドリング入門		5月21日(土)	40人	1日	3,000円	PT	神奈川リハ病院
2	脳血管障害の作業療法		6月2日(木)	16人	1日	3,000円	OT	七沢リハ病院
3	脳血管障害の理学療法		6月11日(土)	30人	1日	3,000円	PT・OT	神奈川リハ病院
4	摂食・嚥下障害のリハビリテーション		6月17日(金)	30人	1日	3,000円	医療職・福祉職・介護職など	神奈川リハ病院
5	股関節症のリハビリテーション		6月18日(土)	24人	1日	3,000円	PT・OTなど	神奈川リハ病院
6	脊髄損傷のリハビリテーション	理解編	6月30日(木)	30人	1日	3,000円	医療職・介護職など	神奈川リハ病院
7	(新) 脊髄損傷のリハビリテーション	ロボット編	6月30日(木)	30人	夕方	1,000円	医療職・介護職など	神奈川リハ病院
8	OTハンドリング入門		7月2日(土)	40人	1日	3,000円	OT	神奈川リハ病院
9	機能訓練指導員研修		7月6日(水) 7日(木)	40人	2日	5,000円	機能訓練指導員など	神奈川リハ病院
10	高次脳機能障害セミナー	小児編	7月9日(土)	30人	1日	無料	教育・医療・福祉関係者など	おださがプラザ
11	補装具専門研修		7月27日(水)	20人	1日	無料	市町村障害福祉担当職員	神奈川リハ病院
12	高次脳機能障害セミナー	理解編	8月27日(土)	200人	1日	無料	限定なし	県総合医療会館
13	(新) 視覚障害のある方への支援		9月13日(火)	20人	1日	3,000円	医療職・福祉職・介護職など	神奈川リハ病院
14	車椅子シーティングの理論と実際		9月22日(木・祝)	30人	1日	3,000円	医療職・福祉職・介護職など	神奈川リハ病院
15	身体機能障害の理解		10月4日(火) 11日(火)	20人	夕方2時間 各回1,000円		相談支援専門員・福祉職など	アミューあつぎ
16	PT・OTのための土曜教室		10月~2月の土曜日 月1回開催	24人	5日	20,000円	PT・OT	神奈川リハ病院
17	住宅改造・改修セミナー		10月15日(土)	30人	1日	3,000円	医療職・ケアマネ・建築関係者など	横浜市内
18	褥瘡予防セミナー		10月18日(火)	50人	1日	3,000円	医療職・福祉職・介護職など	神奈川リハ病院
19	脳血管障害のリハビリテーション	復職支援編	10月22日(土)	30人	1日	3,000円	ケアマネ・相談支援専門員・OTなど	神奈川リハ病院
20	脊髄損傷のリハビリテーション	実務編	11月26日(土)	30人	1日	3,000円	看護師・PT・OTなど	神奈川リハ病院
21	排泄ケアの知識と実践		11月30日(水)	50人	1日	3,000円	医療職・福祉職・介護職など	神奈川リハ病院
22	高次脳機能障害セミナー	実務編	12月10日(土)	50人	1日	無料	医療職・福祉職など	厚木シティプラザ
23	知的障害の方の身体機能低下への対応		12月6日(火) 13日(火)	40人	2日	5,000円	施設職員など	神奈川リハ病院
24	高次脳機能障害セミナー	就労支援編	1月28日(土)	40人	1日	無料	医療職・福祉職など	湖南西部地区
25	義肢装具セミナー		2月18日(土)	20人	1日	3,000円	PO	神奈川リハ病院
26	かながわりハビリテーション・ケアフォーラム		2月25日(土)	200人	1日	無料	限定なし	横浜情報文化センター

編集後記 : 地域リハ支援センターには地域支援室と高次脳機能障害支援室が活動しています。写真に写っている職員だけではなくリハ専門医、PT、OT、ST、臨床心理士、義肢装具士、リハエンジニア、職業指導員、ソーシャルケースワーカーなどの病院のリハスタッフが兼務し、支援の内容によって専門家が対応できるようにしています。リハ専門相談、研修など、今年度も皆様のお役にたてるよう連携しながら地域リハを推進していきます。



よろしくお願ひいたします。
(泉 忠彦)

〒243-0121 神奈川県厚木市七沢 516
神奈川県総合リハビリテーション事業団
地域リハビリテーション支援センター
TEL:046-249-2602 FAX:046-249-2601